学校番号	T3036

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	新数学Ⅱ（東京書籍）						
副教材等	新数学Ⅱ　解答編　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・例題解説をしてから、各自演習を行います。
・家庭での復習を行うことで定着させていくことが大切です。宿題に意欲的に取り組みましょう。
・分からないことを質問することも大切です。疑問やつまずきは一人で悩まず、周りの仲間や教員に質問し、小さなコミュニティーの中で相互に教えあうことでより深い理解を進めます。

2　学習の到達目標

(1) いろいろな式、図形と方程式についての基本的な原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする意欲、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする意欲、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする意欲や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	いろいろな式、図形と方程式についての基本的な原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする意欲、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	方程式・式と証明	式の計算	a:三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。 分数式の四則演算の方法を理解し、計算することができる。 b:分数式の計算を、既習事項の数の計算と関連付けて多面的に考察することができる。	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 確認テスト ワークシート	
		2次方程式	a:数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則演算をすることができる。 二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解している。 b:判別式を用いて、解の種類の場合分けをすることができる。 c:複素数が利用されている場面に関心をもち、考察しようとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 観察
		高次方程式	a:因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 c:身近な問題を解決するために高次方程式を利用しようとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート		ワークシート 観察 振り返りシート

		式と証明	b:実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明しようとしている。 C:証明の方法が正しく書けているか自分の解答を振りかえり、数学的に正しい証明ができるように粘り強く考えようとしている。		定期考査 確認テスト ワークシート	ワークシート 観察 振り返りシート
後期	図形と方程式	座標と直線の方程式	a.座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。	定期考査 確認テスト ワークシート		
		円の方程式	a:座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。 b:座標平面上の図形について、方程式を利用することで図形の性質や位置関係について考察することができる。 c:事象を図形と方程式を用いて考察しようとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 確認テスト ワークシート	ワークシート 観察 振り返りシート
		軌跡と領域	a:軌跡について理解し、軌跡を求めることができる。 不等式の表す領域を図示することができる。 b:２つ以上の不等式が表す領域を求めることができる。 c:領域の考え方を用いて、日常の事象を数学的に捉え、問題解決に活用したり、考察しようとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 確認テスト ワークシート	ワークシート レポート 観察 振り返りシート

	三角関数	三角関数	a:角の概念を一般角まで拡張する意義を理解している。 三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解している。	定期考査 確認テスト ワークシート		
		加法定理	a:三角関数の加法定理や２倍角の公式について理解している。 b:三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 確認テスト ワークシート	
	指数関数と対数関数	指数関数	a:指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。	定期考査 確認テスト ワークシート		
		対数関数	a:対数の意味とその基本的な性質について理解し，簡単な対数の計算をすることができる。 b:指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 c:事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察し，問題解決に活用したり、考察したりしようとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 確認テスト ワークシート	ワークシート レポート 観察 振り返りシート
	微分と積分	微分係数と導関数	a:微分係数の意味について理解し，関数の和や差の導関数を求めることができる。	定期考査 確認テスト ワークシート		
		導関数の応用	a:導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べることができる。	定期考査 確認テスト ワークシート		

		積分	a:不定積分や定積分の意味を理解している。 b:微分と積分の関係に着目し，積分の考えを用いて直線や放物線のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 c:事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 確認テスト ワークシート	ワークシート レポート 観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度